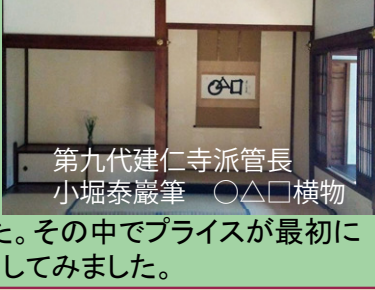


出会いふれあい トオル社長の珍道中 全国茶の湯紀行
「建仁寺両足院 伊藤若冲筆 雪梅雄鶏図」です

今年伊藤若冲生誕300年です！ ということで以前京都建仁寺で若冲の雪梅雄鶏図を見たことを思い出しての掲載です。若冲はアメリカ人収集家ジョー・プライス(1929生れ)のコレクションにより再評価され現在の知名度と人気を高めました。プライスは「紫陽花双鶏図」など若冲の傑作を次々コレクションし、円山応挙、曾我蕭白、長沢芦雪他、正統派から奇想の画家まで収集の幅を広げました。その中でプライスが最初にコレクションした「景和」署名の若冲の「葡萄図」(図①)に注目してみました。



第九代建仁寺派管長 小堀泰巖筆 ○△□横物



若冲の精神的な支えであった相国寺僧侶、大典顕常だいてんけんじょう1719-1801は「景和は(若冲)は幼い頃から学習が嫌いだった。中略・ひとりで日があ一日絵に没頭しているのが彼の性に合っていた。30年間絵に没頭しても、彼にはたった丸一日しかたっていないような感覚だった。」と記しています。来年は酉年、生命力にあふれた雄鶏など若冲の華麗な作品にふれる機会が多くなると思います。(o)
※伊藤若冲生誕300年記念若冲の真実展(仮称)
※場所 京都市美術館
※開催期間 2016・10/4~12/4 Tel.075-771-4107

雪と鶏を描いた若冲の作品の中でも、両足院の雪梅雄鶏図には、鶏冠の赤と梅の花の赤の色彩に美しさと生命力を感じる。

月刊 いつもの
ギャラリーさん
(題字・三輪休和)
84号
2016年9月発行

2012松阪スポーツ賞 受賞でのツーショット
松阪出身土性沙羅選手リオデジャネイロ五輪レスリング女子69キロ級金メダルおめでとう
私の大切に残しておきたい思い出の一枚です
この写真は土性さんが高校生の頃でまだあどけさが少し残っていますね。
ジュニアの世界で活躍し始めた頃です。
この時お互いに世界に飛び出そうと誓い合いました。こんなに早く実現するのは!(^ ^)!

いつきのみや観月会 平成28年9月17日(土)
野点茶会あります



益田孝の所持となった斎宮女御は三十六歌仙中最高の価格が付けられた。

文化庁が新たに創設した制度「日本遺産」に、三重県多気郡明和町が申請した「祈る皇女 斎王のみやこ 斎宮」が平成27年4月24日に認定されました。斎宮は「いつきのみや」とも呼ばれ、斎王の宮殿と斎宮寮という役所のあったところ。斎王は、天皇に代わって伊勢神宮に仕えるため、天皇の代替りごとに皇族女性の中から選ばれて、都から伊勢に派遣されました。古くは、伊勢神宮起源伝承で知られる「倭姫命」など伝承的な斎王も見られますが、その実態はよくわかっておらず、制度上最初の斎王は、天武天皇(670年頃)の皇女・大来皇女のおくのこうじよで、制度が廃絶する後醍醐天皇の時代(1330年頃)まで約660年間続き、その間記録には60人余りの斎王の名が残されています。また神に仕える未婚の皇女という特殊な立場にあった斎王は、王朝文学にも登場し、そのモデルとされました。その中でも『伊勢物語』第六十九段「狩の使」には、在原業平と思われる「ある男」と斎王恬子内親王やすこないしんのうの一夜の出会いが描かれています。それが事実か否かは不詳ですが、恬子内親王がこの後も斎王の任を全うされたことは事実です。また朱雀天皇時代の斎王徽子女王きし(よしこ)じよおうは、三十六歌仙の中で「斎宮女御」と呼ばれ、後に歌集『斎宮女御集』が残されました。
斎宮歴史博物館HPより



「伊藤南山茶陶展」にはたくさんのご来喫ありがとうございました。講演会では伝統的な京焼「いっちゃん」技法をとり入れた作品に京都オパールを焼成させた「輝石せきせき茶碗」のこと、ハワイセミナーでの逸話・など短い時間ではありましたが先生の人柄にもふれさせていただきました。尚、詳しくはさんのギャラリー森田 facebook をご覧ください。

実りの秋 お買得セール 商品お問合せは、お電話又はメールにてお待ちしております
☎ 0598-21-3178 http://www.gallery-morita.co.jp/

 江口宗山 絵唐津沓形茶碗 ¥54,600→¥38,000	 南口閑粹 金地置上菊茶碗 ¥43,900→¥30,700	 土居庄次 尾戸焼月に雁茶碗 ¥24,800→¥17,300	 山川敦司 粟田焼写案山子茶碗 ¥26,100→¥18,000
 喜多庄兵衛 モール竹生島蓋置 ¥33,300→¥24,000	 金谷宗林 跳うさぎ蓋置 ¥17,300→¥12,000	 松山武司 鳴子長棗 ¥74,100→¥51,000	 方谷豊宗・廣尚筆 稲穂画賛 ¥25,000

編集の窓

野辺見れば尾花がもとの思ひ草
かれゆく程になりぞしにける
新古今集 和泉式部

道のへの尾花が下の思ひ草
今更さらに何をか思はむ
万葉集 作者不詳

ナンバンギセル
ススキやイネなどの植物の根に寄生して、そこから養分を生育する寄生植物。葉は退化しており光合成する能力はない。花の形が、南蛮人の用いたキセルの形に似ているところからこの名になったと言われる。別名 煙管草(きせるそう) キセルが渡来する以前からは 目立たないように生えるその生体からは 和歌では「思草(おもいぐさ)」の名前で詠まれている。

ご案内 当店では、皆様にお抹茶を楽しんで頂けるようお待ちしております。近くにお越しの際は気軽に遊びにいらして下さい
(女性スタッフより)

お客様のご要望に応じて社員が定期的に三重県内にお伺いさせていただいております。何なりとお申し付け下さいませ。

今月の店内 小さい秋を見つけました

ギャラリー森田ホームページ gallery morita スタッフぶろぐ

facebook をご覧ください!

■ご不要になりましたお道具など どうぞお売り下さい。
http://ameblo.jp/gallerymorita/ 月刊「ギャラリーいさん」編集プロジェクト



ナンバンギセル photo by SA